

## 蒲生干潟の地形調査②⑤

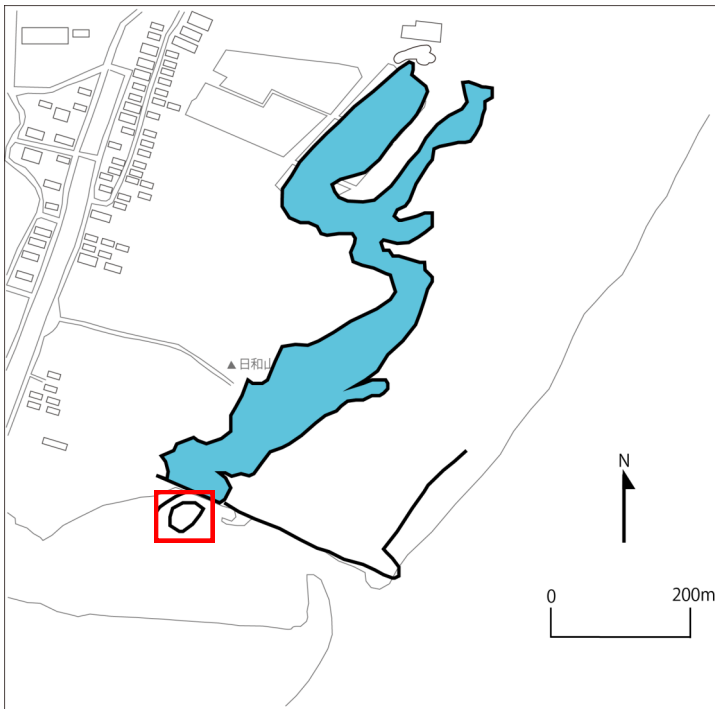


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.3 潟湖の水が岩石の間から川へ流れ出るようす



Fig.4 右岸のようす (西側より撮影)

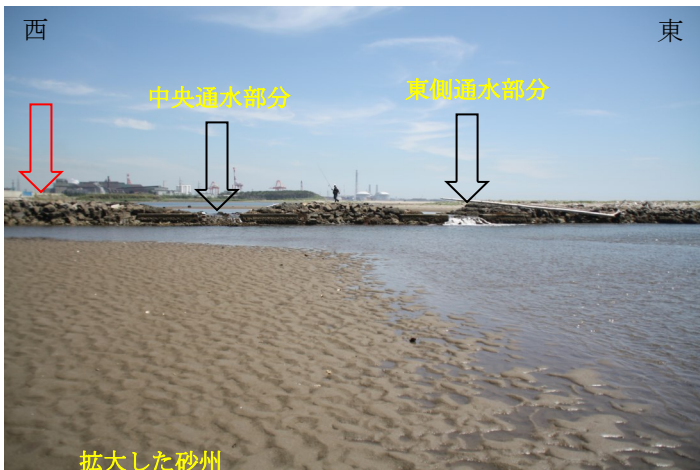


Fig.2 潟湖から川への通水の様子 (南側より撮影)



Fig.5 海岸線のようす (南側より撮影)

調査日 2017年6月9日 (金) 10:00~11:30 ※干潮時刻9:42 (潮位16cm)

干潮の時間帯に調査を行った。GPSによる簡易測量の結果から、潟湖の形は5月16日の調査とほぼ変化がなかった。導流堤通水部分は3箇所とも潟湖から川への水が流出しており、3箇所ある通水部分は、東に行くほど流れが速くなっていった (Fig.2)。Fig.2中で赤矢印で示した付近では、通水部分では無いのに、積み上げた岩石の間から、潟湖の水が流出していることが確認された (Fig.3)。また導流堤通水部分の南側 (Fig.1の赤く囲んだ部分) には砂州がひろがっていた。また右岸側の砂州は西側が大きく侵食していた。河口は5月の調査よりも拡大していた。海岸線は侵食による崖が形成されていた (Fig.5)。

(中田 晋)